

大気中の放射線量モニタリング結果 (平成 27 年 12 月)

市では、環境総合研究所（川崎区殿町）、中原大気測定局（中原区小杉町）及び麻生大気測定局（麻生区百合丘）で、建物屋上及び当該測定地点の地表面付近の放射線量（ガンマ線）について測定を行っており、12月の測定結果は次のとおりです。

詳しくは市ホームページをご覧ください。

- 建物屋上（連続測定）・・・約 0.02 ～ 0.04 マイクロシーベルト / 時間で推移（12月15日現在）
 - 地表面付近（月1回測定）・・・測定結果は次のとおりであり、いずれの地点、高さにおいてもほぼ同じ数値で推移
- 単位：マイクロシーベルト / 時間

地表面からの高さ	環境総合研究所 (土・草地)	環境総合研究所 (アスファルト)	中原大気測定局 (アスファルト)	麻生大気測定局 (土・草地)
100cm・50cm・5cm	0.04～0.05	0.04～0.05	0.04～0.06	0.05

※マイクログレイ / 時間で測定した値をマイクロシーベルト / 時間に換算して表記しています。
 ※原子力規制庁によると、「緊急時は、1グレイ＝1シーベルト」として換算します。
 ※神奈川県が川崎市内5か所に設置しているモニタリングポスト（地上約3m）の平成21年度（福島第一原子力発電所の事故以前）の年平均値は0.023～0.042マイクロシーベルト / 時間でした。

市ホームページ：<http://www.city.kawasaki.jp/300/page/0000037968.html>

問い合わせ：環境局環境対策課 TEL 200-2516 FAX 200-3922

浮島埋立処分場における放射能濃度等測定結果(平成 27 年 12 月)

市では、ごみ焼却灰の埋立に伴い、廃棄物の最終処分場である浮島埋立処分場の敷地境界で空間放射線量（ガンマ線）の測定を行っております。また、埋立処分場の内水等の放射能濃度（放射性セシウム濃度）についても測定を行っており、12月の測定結果は次のとおりです。

詳しくは市ホームページをご覧ください。

- 埋立処分場空間放射線量（連続測定）・・・0.043 ～ 0.060 マイクロシーベルト / 時間で推移（12月15日現在）
 - 埋立処分場の内水等・・・測定結果は次のとおり
- 単位：ベクレル / L

	測定値	基準等	測定頻度
埋立処分場内水	2.3～2.6 (検出下限値：1.0)	国の目安値 75 本市の管理目標値 10	週1回
放流水	放流がなかったため、未測定 (検出下限値：1.0)	国の目安値 75 本市の管理目標値 10	放流時
外海水	放流がなかったため、未測定 (検出下限値：1.0)		放流時

※上記掲載の測定値は、11月16日から12月15日までの期間に測定したものになります。

市ホームページ：<http://www.city.kawasaki.jp/300/page/0000045121.html>

問い合わせ：環境局処理計画課 TEL 200-2590 FAX 200-3923

廃蛍光管の回収拠点が増えます

家庭から出る使用済みの蛍光管は、現在、生活環境事業所などで拠点回収を行っています。平成28年1月以降は新たな拠点が加わり、次の拠点で回収を行いますのでご利用ください。

回収拠点	所在地	備考
南部生活環境事業所	川崎区塩浜 4-11-9	実施中
川崎生活環境事業所	川崎区堤根 52	
中原生活環境事業所	中原区中丸子 155-1	
宮前生活環境事業所	宮前区宮崎 172	
多摩生活環境事業所	多摩区柘形 1-14-1	
ヨネッティー堤根	川崎区堤根 73-1	平成28年1月から
橘リサイクルコミュニティセンター	高津区新作 1-20-3	平成28年4月から
ヨネッティー王禅寺	麻生区王禅寺 1321	
王禅寺処理センター環境学習施設	麻生区王禅寺 1285	

上記のほか、区役所で開設する「ごみ相談窓口」でも回収しています。（川崎区役所、大師・田島支所を除く）

問い合わせ：環境局減量推進課 TEL 200-2579 FAX 200-3923

公害病被認定者数 1,379 人
 (認定者総数 6,040 人 - 認定失効者数 4,661 人)
 認定失効者数 4,661 人
 (治癒等 2,077 人 + 死亡者数 2,584 人)
 平成 27 年 11 月 末 現在 (健康福祉局)

発行編集
 川崎市環境局総務部環境調整課
 電話 044 (200) 2387 (直通)
 E-mail 30kantyo@city.kawasaki.jp

